

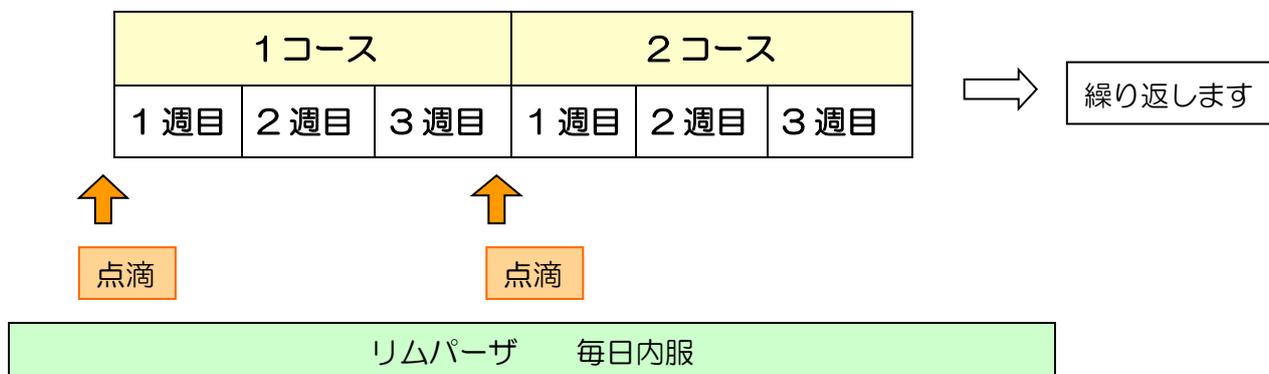
リムパーザ/ベバシズマブ療法について

1. 治療のながれ

治療スケジュール

通常「3週間」を一区切り（1コース）として治療します。

副作用の程度や体調によって治療計画を変更することがあります。



点滴スケジュール

点滴時間「30～90分」 状態に応じて変わります。

	薬品名	点滴時間	薬効
	生食 100ml +ベバシズマブ	90分～ 30分	腫瘍へ栄養や酸素を補給する血管を作るのを抑え、併用している抗腫瘍剤の効果を高める薬剤です。時間は初回が90分、異常がなければ60分、30分と短縮することができます。

血液検査の結果や問診による自覚症状の有無を確認し、化学療法実施の決定を医師が行います。

2. リムパーザ錠を服用するときの注意点

100mg



150mg



- ① 1日2回服用します。医師に指示された用量を必ず守ってください。
- ② 飲み忘れた時について
いつもの服用時間から2時間以内に気づいた場合には、飲み忘れた分の錠剤を服用してください。2時間を超えてから気付いた場合は服用せずに、次の服用時間に1回分だけ服用してください。**絶対に2回分を一度に飲まないでください。**
- ③ 専用の服薬記録手帳があります。服薬状況を記録し、飲み間違いのないように心がけてください。

3 予想される副作用

- 副作用は、治療内容や個人個人で症状の現れ方や程度が異なります。このため、副作用が出現した場合は、早期に対応できるようにすることが重要です。
- 副作用は、治療開始後すぐに起こる症状や、治療を繰り返すことで起こる症状があります。

副作用の特徴を理解し、体調に異常を感じた場合はすぐにお知らせください

▼ 「自分でわかる症状」

副作用	出現時の対策・日常生活における注意点
アレルギー反応 (インフュージョンリアクション) 	薬剤投与中、投与後に起こることがあります。 発疹、悪寒、発熱、呼吸苦、めまいなどの症状が出現することがあります。 症状が出現時は、ステロイド剤と抗アレルギー剤で対応します。
粘膜からの出血	主に鼻血、歯肉などから軽度の出血、血便がみられます。 これらの出血は通常軽く、たいていは、自然にとまります。 出血が止まらない時、血便だったときはお知らせください。
吐き気・嘔吐・食欲不振 投与直後から 7 日目頃 	<ul style="list-style-type: none"> 投与後すぐに起こる場合。 投与翌日から 1 週間ぐらいの間に起こる場合。 投与前から起こる場合。 食事のにおいなどで起こる場合。 これ以外でも変わったことがあった場合は報告してください。 吐き気止めや症状や原因に応じてその他の薬剤を使用します。
下痢 投与直後から 7 日目頃 	普段から便秘の状態を把握するように心がけてください。 腹痛や、下痢でトイレの回数が多い場合は報告してください。 症状が出現したときは水分補給をこまめに行ってください。 下痢止めや水分補給のための点滴を使用します。
疲労感・倦怠感・発熱 投与後 2 日から 3 日目頃	無理をせず、十分な休息とるようにしてください。 肝機能が影響して症状が出現する事があります。 発熱の症状に応じて解熱剤を使います。 
たん白尿	高血圧の方に出現しやすい傾向があります。 治療期間中は、定期的に尿タンパクを測定します。
間質性肺炎	空咳、息切れ、発熱など 症状を感じたら受診し、適切な治療を受けてください。
高血圧	我慢できないほどの頭痛や吐き気、意識がもうろうとする。 治療として一般的な降圧薬による治療が行われます。 急激に血圧が上昇して脳やその他の臓器に障害が生じることがあるため、治療期間中は定期的に血圧測定してください。 安静時に測定した血圧で最大血圧が 180mmhg もしくは最小血圧が 120mmhg を超える場合も連絡してください。

副作用	出現時の対策・日常生活における注意点
血栓 (心筋梗塞、脳梗塞、狭心症など)	胸が痛む、胸がしめつけられる、意識を失いそうになる、ろれつがまわらなくなる、激しいめまいがする、突然息切れがするなど症状がみられた時は、すぐに連絡してください。

▼「検査でわかる症状」



定期的な検査を行い、問題ないことを確認していきます。

副作用	出現時の対策・日常生活における注意点
白血球・好中球減少 	感染症にかかりやすくなります。感染予防を心がけてください。 <ul style="list-style-type: none"> ・帰宅時に手洗い、うがいを行う。 ・歯みがきは口の中を傷つけないように気をつける。 ・風邪など感染症にかかっている人に近付かない。 風邪などの症状がある場合は早めに受診するようにしてください。 減少の程度によって、内服薬または注射薬を使用します。   
赤血球減少 	めまい、倦怠感、息切れなど貧血時に見られる症状が出現します。 <ul style="list-style-type: none"> ・減少の程度によって、内服薬または注射薬を使用します。 ・減少の程度では、輸血することがあります。
血小板減少 	出血しやすくなります。 <ul style="list-style-type: none"> ・怪我や内出血（打ち身などによる）に注意してください ・覚えのない内出血や血便が見られたときは報告してください ・減少の程度に応じて輸血することがあります
腎機能 肝機能 電解質 などの項目も問題ないか確認していきます	

ここに書いてある以外の副作用が現れるかもしれません。

パンフレット「リムパーザを服用される患者様とご家族へ」もお読みください。

普段と何か違うな、おかしいなと感じたときは医師、薬剤師、看護師に報告してください。

治療を受けているときは、様々な不安や疑問を感じると思います。

そのようなときは主治医、薬剤師または看護師にお気軽に相談してください。

